

① 本町の防災対策について

今年7月の記録的豪雨による災害により、国内各地で大きな被害が発生しました。本町では7月6日に大雨特別警報や避難勧告が発表されました。そこで次の点について質問致します。

- (1) 今年7月6日の大雨特別警報や避難勧告による本町の被害状況及び避難状況はどのようになっているか。
- (2) 避難所については感染症対策と避難生活の環境改善が課題とされているが、現在どのように取り組んでいるか。
- (3) 長与川の水害対策はどのように考えているか。
- (4) 昨年6月の一般質問で災害対策として役場庁舎等の施設に無料 Wi-Fi 設備の設置促進について質問したが、その後の検討状況はどのようになっているか。
- (5) 政府は今年5月に国や自治体を実施する災害対策を示した防災基本計画を改定し、各自治体がつくる地域防災計画の見直しを促しているが、長与町地域防災計画の見直しはどうか対応するのか。

② ICT（情報通信技術）の利活用について

本町では、ICT（情報通信技術）の飛躍的進化と新たな可能性を積極的に取り入れ、幅広くその有用性を検討し、長与町のまちづくりに活かしていくために基本的な方向性を示すものとして平成25年3月に「長与町情報化計画書」（以下「計画書」という）を作成しています。そこで次の点について質問致します。

- (1) この計画書は当時考えられる ICT をもとに利活用の施策事業を提言されているが、これまでの主な ICT の利活用実績はどのようになっているか。また、実績に対する評価はどのように考えているか。
- (2) この計画書が作成されて以降、ICT は更に進化しており、また、最近ではコロナ感染症対策としてのリモートワークや教育デジタル化を加速するための GIGA スクール構想、農業分野における省力化や品質向上を可能にするスマート農業などの導入により、社会情勢の変化も進んでいる。この計画書を最新の計画に見直す考えはないのか。
- (3) この計画書は当時、情報インフラ整備検討会で作成されているが、ICT の利活用は今後も引き続き業務効率化や課題解決はもとより地域の情報化の推進等にとって必要不可欠であるため、組織体制を新たに構築する必要があるのではないかと思うが、見解はどうか。
- (4) ICT の利活用の将来構想についてはどのような見解を持っているのか。また現在検討中の長与町第10次総合計画との関連はどのように考えているか。
- (5) 新聞報道によると、長崎県は AI やロボットなど先端技術を活用して課題解決と経済発展を両立する社会「ソサエティー5.0」の実現を目指し、本年度、産学官金が連携した体制づくりに着手する。農漁業や福祉、医療、教育など多くの分野から課題を吸い上げ、各企業が持つ先端技術と結び付けて解決策を探る組織体「ながさきソサエティー5.0 推進プラットフォーム」（仮称）を、設立する方針としている。ICT の利活用について本町は今回の県方針にどのように関わっていくのか。